

令和6年度 シラバス

()

学年	教 科	科 目	単位数	担当教員	展開	使用教科書	新財務会計Ⅰ・新簿記
2	商業	財務会計	3	菅原	必修	副教材名	
科目の目標		・企業における取引を記録、計算、整理する知識と技術を身につけ、簿記の基本的な仕組みについて理解する。ロビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を身につける。					
学習の内容と進め方		・簿記の意味、目的、歴史や資産・負債・資本と貸借対照表、収益・費用と損益計算書、簿記一巡の手続きについて取り扱い、簿記に関する基礎的な知識と技術を身につける。 ・現金預金、商品売買、債権債務、固定資産、個人企業の資本と税金、営業費、本支店会計について取り扱い、取引の記録に関する基礎的な知識と技術を身につける。 ・決算整理、財務諸表について取り扱い、決算に関する基礎的な知識と技術を身につける。 ・帳簿、伝票、仕訳帳の分割について取り扱い、帳簿と帳簿組織に関する基礎的な知識と技術を身につける。 ・1年次に学習した内容を基礎とし、さらに発展的な内容について学習します。					
学習の留意点		・1年次に学習した内容が頭に入っていないれば理解に苦しみますので、しっかりと復習する必要があります。日授業で取り上げる例題等をもとに、授業以外の時間を使って繰り返し復習することが大切です。日授業には積極的に参加しましょう。また、分からない部分に関して教友と教え合うと確実理解できます。					
評価の 観点	知識・技能	会計と簿記に関する基礎的、基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理している。					
	思考・判断・表現	様々な処理方法や記帳法について自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。					
	主体的に取り組む態度	株式会社における簿記と会計に関心をもち、知識と技術の習得に意欲的に取り組む。					
評価 規 準	知識・技能	A	Bを上回る状況				
		B	会計と簿記に関する基礎的、基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理している。				
		C	Bの状況に達成していない段階				
	思考・判断・表現	A	Bを上回る状況				
		B	様々な処理方法や記帳法について自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。				
		C	Bの状況に達成していない段階				
	主体的に取り組む態度	A	Bを上回る状況				
		B	株式会社における簿記と会計に関心をもち、知識と技術の習得に意欲的に取り組む。				
		C	Bの状況に達成していない段階				

学 期	月	予 定 時 数	単 元	具体的な学習内容	評価の観点			評価方法等	行 事 等								
					知	思	主										
一 学 期	4	1	オリエンテーション	1年間の学習内容の確認	○	○	○	課題	入学式、対面式等 授業参観								
		3	帳簿と伝票	3伝票について、記帳方法や集計について学ぶ													
		3															
		3															
	5	1															
		3															
		3	特殊な取引の記帳	特殊な商品売買、手形取引の記帳													
		3															
	6	3															
		3															
		0															
		3	決算	損益計算書、貸借対照表の作成													
7	3																
	3																
小計	41																
二 学 期	8	3	決算	損益計算書、貸借対照表の作成	○	○	○	課題	始業式 体育大会 商フェア、2学期中間成績 締日(3年、9/13)								
		2															
		2															
		3															
	9	0	本支店会計	本支店間の取引、本支店の財務諸表の合併													
		3															
		3															
		0	企業と会計	企業会計の意味と役割						○							
	10	3	企業会計制度と会計法規	企業会計原則、企業会計制度について							○						
		3	貸借対照表のあらまし	貸借対照表の意味と役割							○						
		3	資産の意味、分類、評価	貨幣性資産、費用性資産、営業循環基準や14						○							
		3															
	11	3	当座資産	現金預金など当座資産の評価方法							○						
		0	棚卸資産、その他の流動資産	商品評価損や棚卸減耗損などの評価方法							○						
		1	有形固定資産	取得原価の計算、減価償却							○						
		3	無形固定資産	取得原価の計算、期末評価							○						
12	3	投資その他の資産	意味や分類、期末評価について	○													
	2																
	2																
	2																
小計	40																
三 学 期	1	3	負債の意味と分類	負債の意味や分類について	○	○	○	課題	始業式 予備会、3学期成績締日(3 年、1/31) スキー遠足								
		3															
		2	流動負債	未払金と未払費用などの差異													
		3	固定負債	退職給付引当金などの処理方法													
	2	0	資本金、資本剰余金、利益剰余金	資本の意味や分類、計算方法						○	○	ノート	卒業式 3学期成績締日①②(3/4)、 入学者選抜				
		3	自己株式、新株予約権	自己株式などの意味や、計算方法													
		2	貸借対照表の作成	作成方法について													
		3															
	3	3	損益計算書の作成	作成方法について											○	発表	修了式
		2															
		2															
		2															
小計	24																
合計	105																